

東北大学大学院歯学研究科
インターフェイス口腔健康科学
第67回学術フォーラム

Forum for Interface Oral Health Science

“インプラント周囲病変への対応”

弘岡 秀明 先生

スウェーデン・デンタルセンター
東北大学大学院歯学研究科咬合機能再建学分野
臨床教授

平成25年4月26日(金) 17:00～19:00
歯学部C棟1階 大会議室

抄録

近年、当初無菌顎用いられたデンタルインプラントが部分欠損歯列にも応用される様になった。その後歯周病患者にもデンタルインプラントが応用され始めた。歯周病患者では歯槽骨の喪失によりインプラントの埋入自体困難な場合が多い。これに加え歯周病患者では口腔内の細菌叢の問題によりインプラント周囲炎の発生率がより高いことが報告されている。インプラント先進国であるスウェーデンでは埋入されたインプラントの約12%、患者の約28%がインプラント周囲炎に罹患しているとの報告もあり社会問題になりつつある。

ひとたびインプラント周囲炎になると現在のところ炎症のコントロールの方法のみならずインプラント周囲炎で失われた骨欠損を完全に再生する術式が見つかっていない。歯周病患者へのインプラント応用を念頭に置いて“インプラント周囲病変への対応”について症例を呈示すると同時に文献考察に加え私見をのべてみたい。

連絡先: 第67回モデレーター

小山重人(顎口腔再建治療部・インプラントセンター)
菅野太郎(咬合機能再建学分野)